

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	35	介護保険	事業コード	37125
事業名	介護サポートポイント費					
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 高齢福祉課				
	課長名	石崎 憲史	担当者名	甲斐 久織	電話番号	011-211-2976
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	高齢者のボランティア活動への参加を促進し、社会参加を図る。			
		長期	高齢者のボランティア活動を通じた社会貢献を奨励し、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を図り、いきいきとした活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。			
	取組内容	高齢者自身の社会参加を通じた介護予防を図るため、高齢者の社会参加のきっかけとして、要介護認定を受けていない市内在住の介護保険第1号被保険者が介護サポーターとして登録し、市内の介護施設等でボランティア活動を行うことで、その活動に対してポイントを付与し、ポイントに応じて現金を交付する。				
	実施結果	令和3年度末 介護サポーター登録者数: 1,689人 対象施設数: 220施設  令和3年度新規登録者数: 44人 令和3年度活動者数: 112人				
事業実施における工夫点	広報さっぽろや市民向けパンフレット等への掲載、地下鉄駅でのポスター掲示、関係機関等へのチラシ・ポスター配架により、広く市民への事業周知に努めた。ボランティア活動の対象施設拡大のため、未登録施設への事業周知を図った。					
対象者	介護保険第1号被保険者(65歳以上の高齢者)	開始	平成25年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	介護保険法・地域支援事業実施要綱(国) 介護サポートポイント事業実施要綱(市)					
他都市の状況	多くの政令指定都市で同様の事業を実施している。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	8,793	11,149	8,327	11,147
うち特定財源	8,793	11,149	8,327	11,147
人工	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160
計(事業費+人件費)	10,953	13,309	10,487	13,307
事業費の内訳	令和3年度決算	ポイント換算交付金(報償費): 327千円 事業運営委託料: 8,000千円		
	令和4年度予算	ポイント換算交付金(報償費): 2,920千円 事業運営委託料: 8,227千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新規介護サポーター登録者数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	72	70	44	140	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	サポーター活動者数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	569	300	112	150	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、介護サポーター登録説明会(研修)の中止が相次いだほか、対象施設でのボランティアの受け入れ等が困難になるなど、サポーターの活動は制限されたが、高齢者が社会参加を通じて、自らの介護予防に取り組む事業として、一定の成果をあげたと考える。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	対象者の範囲やポイント換算交付金の上限額は、他都市が実施している同事業とほぼ同水準であり、妥当である。ただし、ボランティア活動の場(対象施設)としては、子育て支援や障がい者支援施設等に拡大し実施している他都市もあることから、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、活動の場の拡大について検討の余地がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ボランティア活動センターを運営するなど、委託先はボランティア活動及びボランティア活動派遣に関する知識や経験など実績は十分であり、業務に精通していることから、円滑に事業運営が行われている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年度に実施したサポーター向けアンケートでは、活動者の約40~50%が「社会や地域、人の役に立っていると感じられた」、「人と交流する機会が増えた」、「健康に気を遣うようになった」、「外出する機会が増えた」、「介護への理解が深まった」、「生活に張り合いが出来た」と回答しており、高齢者自身が地域貢献や健康増進、介護予防等の効果を実感している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、新規回登録者や活動者が減少していることから、活動再開に向け、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、サポーターの活動場所拡大について検討する余地がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動者は減少傾向にあるものの、介護サポーターが地域貢献や健康増進、介護予防等の効果を実感できる事業であり、外出や交流機会の創出につながっているため、一定の成果をあげていると考える。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 高齢者の社会参加や介護予防に資する事業として引き続き継続し、少しずつ活動が再開できるよう、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながらサポーターの活動場所拡大を検討するなど、サポーターの活動を支援する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		見直し効果額	0 千円
		新型コロナウイルス感染症の影響により、介護施設等でのボランティア活動の受け入れが困難になるなど、サポーターの活動は制限され、活動者数は減少していることから、事業費は減少見込み。		見直し効果額	0 千円